

ヤマトエコフォー-G/2&3

ツー スリー

2%だから3%の1.5倍の実力を発揮!!



特 長

- ◆備蓄場所が少なく済み、省スペースを実現します◆
- ◆高性能ですから、同量保有では1.5倍の放射が可能です◆
- ◆搬送の効率化により、備蓄タンクから火災現場への原液搬送スピードがアップします◆
- ◆原液の廃棄量が低減され、使用時の環境負荷を少なくします◆
- ◆3%機器でもそのまま使えます◆

- 水または海水に原液2%、または原液3%のどちらでも使用できます。
- 基本成分は従来の3%タイプと同じで、石油類火災の消火に最適です。
- フォームノズル、フォームヘッド、フォームチャンバーなど、従来の発泡器が使用でき、原液2%使用のときは混合器の調整や原液オリフィスの変更で対応できます。
- 環境に配慮した天然たん白質が主成分です。
- 10℃～+30℃の温度範囲で使用できる耐寒性があります。

ヤマトエコフォーム2&3

〔たん白泡消火薬剤・耐寒用 2%・3%型〕 ○石油類火災用

エコフォーム2&3は、2%濃度の使用においても3%型と同等の性能を発揮できるよう新しく開発したもので、昭和50年12月9日発令の総務省令第26号消防法第21条の2第2項の規定に基づいた「泡消火薬剤の技術上の規格を定める省令」（国家検定）に合格した、たん白泡消火薬剤「型式番号泡第14～1号」です。本文はこの仕様に関するもので石油類火災用として使用するものです。

■成分

1. [ヤマト エコフォーム2&3]は、環境に配慮した天然たん白質を加水分解したものを主成分とする泡消火薬剤です。
2. 泡安定剤・凝固点降下剤などを添加しています。
3. 貯蔵中の薬剤変質を防止するために変質防止剤を添加しています。

■使用方法

1. 水または海水98容量%に本薬剤2容量%を溶解して使用します。水または海水97容量%に本薬剤3容量%を溶解しても使用できます。石油類火災の消火に使用します。
2. 泡ノズル・泡ヘッド・フォームチャンバーなどで使用できます。
3. 2容量%での使用は従来混合器の調整や原液オリフィスの変更で対応可能です。

■性状

1. 黒褐色の均質な粘性液体です。
2. 2%または3%希釈での微細な生成泡は耐熱性・耐油性に優れ、速やかに消火します。
3. 泡消火薬剤の原液及び生成した泡は、毒性または著しい損傷性がほとんどありません。
4. 金属に対し著しい腐食性はありせん。
5. [ヤマト エコフォーム2&3]は、温度65℃に216時間保った後に室温に戻し、さらに温度-18℃に24時間保った後に室温に戻す強制変質試験を行っても、試験前の製品とほぼ同等の性能を有します。

■使用温度範囲

耐寒用として「-10℃～+30℃」の温度範囲で使用できます。もし使用温度範囲及び流動点以下に温度が下がり泡消火薬剤が凍結しても、液温が使用温度範囲内に戻れば有効に使用できます。

■物理的性状

試験項目	エコフォーム2&3 測定代表値	国検検定 規格基準値
比 重 (20℃)	1.12	1.10～1.20
粘 度	32cSt (20℃) 290cSt (-10℃)	400cSt以下 (使用下限温度)
流 動 点	-15℃	-12.5℃以下
水素イオン濃度:pH (20℃)	6.8	6.0～8.0
沈 澱 量	原 液 0vol%	0.1vol%以下
	淡・海 水 稀 釈 0vol% (2%・3%希釈)	0.05vol%以下
引 火 点	引火点なし	60℃以上
金 属 腐 食	鋼 (SPCC) 0.95 mg/20cm ² /day	3 mg/20cm ² /day以下
	黄 銅 (C2801P) 0.79 mg/20cm ² /day	
	アルミニウム (A5052P) 0 mg/20cm ² /day	

■性能

項 目	エコフォーム2&3 試験代表値				規格基準値
希 釈 濃 度	2%		3%		———
使 用 水	淡 水	合成海水	淡 水	合成海水	———
燃 料	自動車用ガソリン:200L				———
使 用 ノ ズ ル	国家検定たん白標準発泡ノズル				———
放 射 量	10L/min				———
燃 焼 火 皿	4m ² (B-20単位)				———
発 泡 倍 率	9.1倍	8.4倍	8.5倍	7.6倍	6倍以上
25%還元時間	4分05秒	5分20秒	5分33秒	7分07秒	1分以上
消 火 時 間	2分11秒	2分42秒	2分31秒	3分02秒	5分以内
密 封 性 試 験	良	良	良	良	継続燃焼しないこと
耐 火 性 試 験	10cm ²	10cm ²	10cm ²	8cm ²	900cm ² 以下

■環境負荷

項目	エコフォーム2&3 2%泡水溶液値 (3%泡水溶液値)	従来型3%型たん白泡 3%泡水溶液値
BOD (生物化学的酸素要求量)	3,200 mg/L (4,800 mg/L)	6,700 mg/L
COD (化学的酸素要求量)	5,700 mg/L (8,500 mg/L)	8,800 mg/L

■容器

標準容器として次の2種類があります。

200L容器：JIS Z 1601に適合する鋼製液体用ドラム缶

20L容器：JIS Z 1706に適合するポリエチレン偏平缶

■取扱上の注意

●使用上の注意

1. 「石油類火災用」に使用してください。
2. 使用時に他の薬剤と混用しないでください。
3. 使用時には淡水・海水または硬水で2%または3%希釈してご使用ください。

●貯蔵上の注意

1. 貯蔵時にプレミックス（淡水・海水・硬水と混合）しないでください。
2. 使用温度範囲を保って貯蔵してください。
3. 貯蔵中に、みだりに開缶しないでください。

※たん白泡消火薬剤は、空気に触れると徐々に表面変化を起こし、原液表面に水不溶性被膜ができて沈澱します。これを繰り返しているうちに次第に可溶性のたん白質成分が少なくなり性能が悪くなります。温度がこの作用を助長します。こうした原因による性能低下を防止するため、変質防止剤などを添加していますが、取扱上の注意を守っていただくと、より長く使用できます。

エコフォームは2%濃度使用での日本消防検定協会による特定消防機器等性能鑑定（性能鑑定）を取得しています。

鑑定型式番号：鑑特第201号

※2%濃度使用での設置にあたっては、消防機関への相談が必要です。

【注意】本仕様書掲載の数値は、代表的な製品による測定値であり、保証値・規格値ではありません。

※カタログ掲載商品は改良などのため、予告なく仕様・規格変更を行うことがあります。ご了承ください。

ヤマトプロテック株式会社

本 社 東京都港区白金台5-17-2 ホームページ <http://www.yamatoprotec.co.jp>

大阪・名古屋・札幌・仙台・さいたま・横浜・静岡・広島・松山・福岡／大阪工場・中央研究所・東京物流センター・大阪物流センター・リサイクルセンター

※このカタログは、古紙100%の再生紙を使用しています。

●あらゆる防災設備・機器のご用命は下記へ……………